

プレストレスト コンクリート設計施工指針グラウト
指針案におけるグラウト試験器具の申込受付について

土木学会ではプレストレスト コンクリート設計施工指針の改訂とともに、グラウト指針案を制定いたしました。そのうち1章、3章の試験器具については下記の要領で申込みを受けます。なお試験器具については所定の試験目的を達せられることを確認した学会の検定保証証の添付してある器具を御使用下さい。学会が一切の手続きを行なっております。学会の保証証のないものは試験器具性能について責任を負いかねます。流下方法試験器具は、製作寸法の誤差、グラウト流下面の表面仕上げ誤差、耐久性についての欠陥の有無、材料の品質について、また体積方法試験器具ではポリエチレン袋の寸法、材質につき規定に合格するよう検定を行ないます。

なお、2, 4, 6章の試験器具については、土木学会北海道支部（札幌市北3条西6丁目 北海道土木部河川課内、電札幌（5）9111）へお問い合わせ下さい。

記

1. 申込先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課 [TEL 351-5138 (代表)]
2. 申込方法：料金（別掲、現金書留、為替）に4.の申込書式に示された所定事項を書込んだ書類を同封のこと。
3. 送付時期：申込受付の日より1週間以内に申込者に製作所より直接発送する予定（ただし品切の場合は送付予定日を通知します）
4. 申込書式：

グラウト試験器具申込書	
1. 試験器具名	第 章 方法試験器具
2. 個 数	組
3. 希望納期	昭和 年 月 日
4. 送付先	住所 氏名
5. 連絡先（できれば東京の連絡電話番号）	
土木学会事業課御中	
氏名 ㊞	

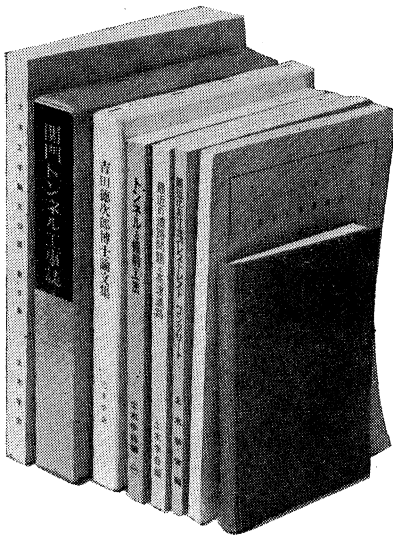
申込書式はハガキの大きさと紙質は問いません。
はっきり御記入下さい。
料金を必ず御同送願います。

5. 料 金：

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ○グラウト指針案 第1章 流下方法試験器具 | 7 500 円 (送料とも) |
| ○グラウト指針案 第3章 ポリエチレン方法試験器具 | 400 円 (100 枚一組, 送料とも) |

新刊図書の頒布について

学会から下記の図書が刊行されました。まだお求めになられない方はぜひこの機会にお求め下さい。あなたの書架を飾るにふさわしい豪華本です。



		会員特価	定 価	価
● 昭和36年度改訂・土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針	B 6判 130頁 クローズ装・ 上製	250 円	350 円	〒 50 円
● 最近におけるプレストレストコンクリート設計施工指針の改訂とPC橋の現況	B 5判 220頁	400 円	550 円	80 円
● 関門トンネル工事誌（関門トンネル工事誌編さん委員会編）	B 5判 800頁 箱入豪華本	1500 円	2000 円	200 円
● 吉田徳次郎博士論文集（代表的論文9編を収録、年表つき）	B 5判 280頁 箱入豪華本	800 円	1100 円	120 円
● 第8回海岸工学講演会講演集（35編の最新の研究を収録）	B 5判 240頁	800 円	1000 円	100 円
● 第5回地震工学研究発表会講演集（22編の講演概要を収録）	B 5判 66頁	250 円	250 円	送料とも

昭和36年度土木学会名簿について

11 月末日発行の予定で目下印刷にかかっております。昭和 36 年度会費 1200 円を完納された方に限り、郵送料その他 100 円の御負担で御送り致します。100 円は御送金願うのが面倒だと思いますので、切手でも結構です。とにかく御便宜な方法で至急御送り願います。

第3回学生諸君のための映画会（関東地区）

建設技術フィルム・ライブラリーと共催による学生諸君のための映画会 12 月（第3回）を下記のとおり開催いたしますからふるって御来会下さい。

記

1. 開催日時：昭和 36 年 12 月 9 日（土）14 時～15 時
2. 場 所：土木学会会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園入口）、国電四谷駅・バス、都電四谷見付・地下鉄四谷駅
3. 上映映画：佐久間ダム 1 部、2 部、3 部

災害に関する水文学のシンポジウム開催について

災害科学総合研究班（代表者・福井大学学長・長谷川万吉）河川専門分科会（主任・京都大学教授・石原藤次郎）では、各界の方々による災害に関する水文学のシンポジウムが開催され本学会はこれを後援することになりました。出席および討議を希望される方は下記によってお申し込み下さい。

1. 期 日：昭和 37 年 2 月 3 日（土）9 時～17 時
2. 場 所：京都市左京区岡崎 京都館内会議場
3. 討議課題：1) 降雨現象 2) 損失現象 3) 流出現象 4) 出水解析法 5) 治水計画
4. 討議方式：パネル・ディスカッション
5. 討議申込：上記課題に対する討議を希望される方は、本誌 49 ページを御覧の上 1000 字程度の討議要旨および課題分類・勤務先・氏名・連絡先を明記の上 12 月 20 日までにお申し込み下さい。
6. 出席申込：本シンポジウムに出席を希望される方は、勤務先・氏名・連絡先を明記の上 12 月 20 日までハガキでお申し込み下さい。
7. 申込先：5. および 6. の申込先は次のとおり
京都市伏見区横大路下三栖 京都大学防災研究所内 災害科学総合研究班・河川専門分科会
8. その他：1) 討議要旨は印刷の上当日実費で配布の予定
2) シンポジウム終了後、今後の運営についての懇談会を開催する予定

関西支部行事案内

（大阪市東区京橋 3 丁目 70 番地 大阪建設会館内）
（電、大阪（94）3651～3、振替口座大阪 82599 番）

（1）第7回学生見学会（名神高速道路）

1. 期 日：昭和 36 年 12 月 16 日（土）
2. 見学先：名神高速道路山科試験所および第一建設局工事現場
3. 参加者資格：土木学会学生会員（ただし申込期日までに入会手続のすんだものおよび大学院学生も有効）
4. 集 合：A 班 12 月 16 日 13 時 10 分 京都大学土木教室
B 班 同 日 13 時 00 分 立命館大学土木教室
C 班 同 日 13 時 30 分 国電山科駅前
5. 行 程：（借切観光バス利用）山科試験所 14 時 30 分まで——本線——伏見（深草高架、鴨川橋、桂川橋）15 時 30 分まで——乙訓（土工、下植野橋）16 時 30 分まで
6. 参加費：50 円 7. 定 員：150 名 8. 申込期限：昭和 36 年 12 月 2 日（土）
9. 申込要領：参加希望者は学校名、氏名および集合場所（A 班・B 班・C 班の区別）を明記の上参加費 50 円を添えて各大学の学生班長を経由の上 12 月 2 日（土）までに土木学会関西支部へ申込んで下さい。
10. 定員超過の場合の処理：申込期限内に定員を超過した場合は大学別に員数の割当をいたしますからおふくみ下さい。

（2）海外事情講演会

1. 日 時：昭和 37 年 1 月 18 日（木）14 時～16 時 30 分
2. 場 所：中央電気倶楽部 4 階ホール（大阪市北区堂島中二丁目、市電停、堂島中町西入る南側 電話 ☎ 3559）

3. 題目と講師：

- 14.00—15.00 ①サウジアラビアにおける道路建設と国情 社団法人復興建設技術協会理事 加藤喜一郎
 15.00—16.30 ②ソ連みたまま 大阪市交通局高速鉄道建設部工事課長 岩村 潔

4. 参加費：無料（来聴歓迎）この講演会終了後別掲のとおり会員懇親会を催しますから多数御参加下さい。

(3) 会員懇親会

1. 日 時：昭和 37 年 1 月 18 日（木）16 時 30 分よりの予定（海外事情講演会終了後）
 2. 場 所：中央電気倶楽部 203 号室（大阪市北堂島中二丁目 市電停、堂島中町西入る南側 電話 ㊟ 3559）
 3. 参加費：300 円 4. 定 員：60 名
 5. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記の上参加費 300 円（送金は振替口座利用）を添えて 1 月 10 日（水）までに土木学会関西支部へお申込み下さい。参加章をお送りします。

(4) 技術講座 3 号

1. 講座名：粘土の力学
 2. 日 時：昭和 37 年 1 月 22 日（月）、23 日（火）の 2 日間 13 時～16 時
 3. 場 所：三和銀行谷町支店 3 階ホール（大阪市東区谷町 2 丁目 大阪府庁南側西入る谷町筋角 電話 ㊟ 5151）
 4. 講 師：京都大学教授 工博 村山 朝郎
 5. 定 員：100 名 6. 参加費：100 円（テキスト代をふくむ）
 7. 申込期限：昭和 37 年 1 月 10 日（水）
 8. 修了証書：講座終了後希望者へは受講証明書をお渡しします（ただし出席率 50% 以上）。
 9. 受講申込方法：受講希望者は勤務先、連絡先、氏名、講座名および修了証書の要否を明記して参加費 100 円（送金は振替口座利用）を添えて 1 月 10 日までに土木学会関西支部へお申込み下さい。参加章をお送りします。

(5) 技術講座 2 号（36 年 12 月 5,6 の両日）詳細は学会誌 10 月号を御覧下さい。

(6) 道路のための土質工学講習会

主 催：土質工学会関西支部 協 賛：関西道路研究会・土木学会関西支部

1. 日 時：昭和 37 年 1 月 16 日（火）、17 日（水）9 時より
 2. 場 所：大阪府職員会館 2 階大講堂（大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏 電話 ㊟ 0351）
 3. 題目と講師：

第 1 日（1 月 16 日）

- | | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|---------|
| 9.00～9.05 | 開会の挨拶 | | |
| ① 9.05—10.05 | 道路建設のための土質調査と土木管理 | 日本道路公団名神高速道路試験所 | 稲田 倍 穂 |
| ② 10.15—11.15 | 土の力学的性質とその試験法 | 大阪市立大学講師 | 三 笠 正 人 |
| ③ 11.25—12.25 | 切り取りと盛土の安定 | 京都大学助教授 工博 | 赤 井 浩 一 |
| ④ 13.20—14.20 | 転圧締め固め | 神戸大学助教授 工博 | 谷 本 喜 一 |
| ⑤ 14.30—15.30 | 路床路盤の支持力及び排水 | 京都大学助教授 工博 | 植 下 協 |
| ⑥ 15.40—16.40 | 路盤安定（ソイルセメントを含む） | 大阪市立大学助教授 工博 | 三 瀬 貞 典 |
| ⑦ 16.40—17.10 | 質疑応答 | | 各 講 師 |

第 2 日（1 月 17 日）

- | | | | |
|---------------|---------------------------|-----------------------|---------|
| ⑧ 9.00—10.00 | 軟弱地盤の対策 | 京都大学教授 工博 | 松尾 新一 郎 |
| ⑨ 10.10—11.10 | 道路構造物に関する問題 | 大阪大学助教授 工博 | 伊 藤 富 雄 |
| ⑩ 11.20—12.20 | ローコスト道路——主として砂利道とその防塵について | 大阪府土木部道路課 | 芳 内 俊 夫 |
| ⑪ 13.20—14.20 | 第二阪神国道における橋梁基礎の設計施工について | 近畿地方建設局道路部長 | 小 林 二 郎 |
| ⑫ 14.30—15.30 | 名神高速道路の路床および路体の設計施工について | 日本道路公団名神高速道路第一建設局設計部長 | 白 善 武 一 |
| ⑬ 15.30—16.00 | 質疑応答 | | 各 講 師 |
| 16.00—16.05 | 閉会の挨拶 | | |

4. 定 員：400 名 5. 参加費：400 円（テキスト代を含む）
 6. 申込期限：昭和 36 年 12 月 28 日
 7. 申込要領：参加希望者は、勤務先、連絡先および氏名を明記の上参加費 400 円を添えて 12 月 28 日までに土質工学会関西支部（大阪市東区杉山町 1 番地 近畿地方建設局大阪国道工事事務所 電話 ㊟ 7993）へ申込んで下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。参加者には参加章をお送りしますから当日は必ず御持参下さい。
 8. そ の 他：テキストのみの希望者の一部 300 円（送料は追って広告）でお領ちします。

地震工学国内シンポジウム（1962年）開催について

1960年にわが国において開催した第2回世界地震工学会議が多岐の成果を収めたことは、すでに御承知のとおりであります。この会議を契機に地震工学への関心は一層高まり、関係各方面の研究はさらに進展を続けていることを心強く感じております。

来る1964年には、第3回の会議が開催されますので、世界の研究者の期待に添う優れた多くの研究成果の発表されることを望んでおります。そのためにも、国内の地震工学専攻の私学者・技術者の知識の交流、研究情報の交換はもとより研究者間の親睦の増進の必要を認め、ここに関係4学会共催のもとに、はじめて「地震工学国内シンポジウム」を開催することに致しました。会員各位にこのことをお知らせすると同時に、下記による論文募集にふるってご応募下さるようご依頼致します。なお、プログラムその他の詳細は、おって発表致します。

昭和36年11月

主催：土木学会、日本建築学会、地震学会、土質工学会

I. 開催予告

1. 日 時：1962年11月15日（木）、16日（金）、17日（土）
2. 場 所：東 京
3. シンポジウムの内容：パネル討論および論文発表
4. パネル討論について：
 - a. 特定のテーマについて毎日午後3時頃より行なう。
 - b. 特定のテーマは後ほど決定するが、次の範囲のテーマを考えている。
Seismicity と耐震設計 Dynamic Design（上部構造および下部構造）

II. 発表論文の募集

1. 発表論文の内容

a. Seismicity に関するもの	d. 耐震実験に関するもの
b. 地震時における地盤の動的特性に関するもの	e. 耐震設計に関するもの
c. 耐震理論に関するもの	f. その他地震工学に関するもの

（注）発表論文は、最近の研究に属するものが望ましいが、既発表のものをふくんで差し支えない。
2. 応募の方法
 - a. 論文提出希望者は1962年6月15日までに、所属学会、氏名、勤務先、職名、連絡先を明記の上、邦文約800字の内容梗概を共催学会へ提出する。
 - b. シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を6月末日までに決定し、すみやかに応募者に通知する。
 - c. 採択された論文著者は1962年8月末日までに次の体裁に整えた原稿を共催学会に提出する。
3. 発表論文の体裁
 - a. 用語は日本語または英語とする。
 - b. 日本語の場合著者は送付された所定の用紙4枚（図、表、写真をふくめて約5500字）以内に邦文タイプする。別にタイプ用紙1ページ（約600語）にタイプした英文の内容梗概をつける。
 - c. 英文の場合はタイプ用紙6ページ（図、表、写真をふくめて約3600語）以内とする。
4. 発表論文の取扱い
 - a. 発表論文は前刷としてオフセット印刷し、1962年10月末日までに希望者には実費頒布できるようにする。
 - b. シンポジウム後、討論その他の補足をオフセット印刷し前刷の発表論文とあわせてプロシーディングスとする。
 - c. 著者には1論文につき別刷30部を贈呈する。

国際会議（1962年）のお知らせ

1. 国際溶接会議年次大会

時 期：1962年6月24日～30日

場 所：ノルウェー オスロ市

出席御希望の方は12月10日までに学会に御連絡下さい。学会の海外連絡委員会——日本学術会議溶接研究連絡委員会——を経て選考推薦されます。

2. RILEM シンポジウム

時 期：1962年6月25日～28日

場 所：イタリア ミラノ市

この会議に参加希望の方は申込書が建設省建築研究所にありますから、同所または学会に御連絡下さい。イタリアからの通信が非常に遅れて来たので御希望の方は至急御連絡下さい。

3. IAHR キャビーテーションおよび水力機械国際会議

時 期：1962年9月3日～8日

場 所：仙台市 東北大学（3日～6日） 見学：東京（7日～8日）

IAHR 会員には第1回 Circular が届いていますが、その他の方で参加御希望の方は学会へ御連絡下さい。